

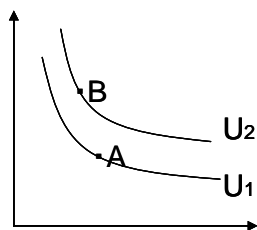
『都市の経済学 小テスト No. 2』 (1問1点、12点満点)

以下の各問に答えよ。ただし、解答はマークシート方式となっている。

※□で囲まれた数字は解答番号を示す。○で囲まれた数字は選択肢番号を示す。

問 1. 無差別曲線について

- 1.1. 無差別曲線とは、ある個人の□1 (①比較優位、○②満足度、③公共性、④外部性) を表す。
- 1.2. ある人の同じ無差別曲線上にある消費の組み合わせは、□1が□2 (①異なる、○②等しい、③どちらとも言えない)。
- 1.3. 同一の個人の無差別曲線が交わることは□3 (①ある、○②ない、③時々ある、④その他)。
- 1.4. 図はある個人の2つの無差別曲線を表している。この個人の□1が小さいのは□4 (○①U₁である、②U₂である、③U₁とU₂は同じ効用水準である、④その他)。



- 1.5. 同一の無差別曲線上にあるとは、一方の財の消費を増加させるとき、他方の財の消費を□5 (①増加させる、②変化させない、○③減少させる、④その他) ことで等しい□1を実現していることを表している。

問 2. 予算制約線について

- 2.1. 所得が1000円、財Xが40円/個、財Yが20円/個であるとする。この時、予算制約線はどうか正しいものを選んで□6に解答しなさい。
(① $X=50-2Y$ 、○② $Y=50-2X$ 、③ $X=50+2Y$ 、④ $Y=50+2X$)
- 2.2. 上記の予算制約線を図に書いたとき、縦軸・横軸との交点はそれぞれどうなるか。横軸をX、縦軸をYとして以下の選択肢から選びなさい。ただし、(X、Y)として表記する。
横軸の交点□7 (○①(25、0)、②(50、0)、③(0、25)、④(0、50)、⑤その他)
縦軸の交点□8 (①(25、0)、②(50、0)、③(0、25)、○④(0、50)、⑤その他)
- 2.3. 予算制約線よりも右上にある消費の組み合わせは、購入することが□9 (①可能、○②不可能、③その他) である。このとき、この消費の組み合わせで消費をすることは□10 (①望ましい、○②望ましくない、③その他) 。
- 2.4. 買いたいと思う消費の組み合わせを描いているのは□11 (①合成財、②住宅サービス、○③無差別曲線、④予算制約線、⑤需要曲線、⑥供給曲線) であり、買うことが出来る消費の組み合わせを描いているのは□12 (①合成財、②住宅サービス、③無差別曲線、○④予算制約線、⑤需要曲線、⑥供給曲線) である。